

手術を受ける患者さんへ



入院前に、必ずお読みください。

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院
手術室

目 次

1. 安全な手術を行うために・・・・・・・・ 2
2. 入院前の体調管理について・・・・・・・・ 3
3. 手術の合併症を予防するために・・ 4
4. 入院から手術前日・・・・・・・・ 7
5. 手術当日の流れ・・・・・・・・ 9
6. 手術室での流れ・・・・・・・・ 10
7. 手術中待機されるご家族へ・・・・・・・・ 11
8. 手術終了後・・・・・・・・ 11
9. Q&A・・・・・・・・ 12



1. 安全な手術を行うために

安全な手術を行うため、
以下の内容を繰り返し
お尋ねすることがあります。
ご理解とご協力をお願いします



アレルギーの有無

大豆・牛乳・卵・果物・
薬・ゴム・金属・テープ・
アルコール綿など。

手術歴の有無

麻酔の種類、手術後の経過、
副作用の有無など。

体調について

咳、鼻水、のどの痛み、
肩や腰の痛み、予防接種
の有無など。

薬について

飲んでいる薬の種類により
手術前に中止していただく
ことがあります。

2. 入院前の体調管理について

万全な体調で手術に臨めるようバランスのとれた食事、十分な睡眠で体調を整えましょう。

以下の症状がある場合は、外来へお電話ください。

発熱



のどの痛み



咳



お腹の痛み



吐き気



下痢



上記以外でも、何か気になることがありましたら
外来へお電話ください。

3. 手術の合併症を予防するために

①禁煙



禁煙
No smoking

喫煙は手術後の合併症と密接にかかわっています。
手術後は痰の量が多くなり、肺に痰がたまり
肺炎などの合併症を起こしやすくなります。
喫煙者は非喫煙者と比べ合併症発生の確率が
4倍と報告されています。禁煙により合併症の
発生率を下げる事が可能です。
手術が決定したら

すぐに禁煙をしましょう。

②深呼吸の練習

手術の後は、傷の痛みや全身麻酔の影響で呼吸が浅くなりやすい状態となります。

そのため、痰が絡み肺炎になりやすい状態になります。肺炎を予防するために、手術前から深呼吸の練習が必要です。



＜具体的方法＞

①鼻から大きく息を吸う。

②口から息を吐く。

※息を吸うのと吐く時間を1:2となるようにしてください。

※①②を1日5～10回程度行ってください。

③痰を出す練習

痰を移動させる



普通の呼吸から、「ハ～」とゆっくり、長く息を吐く

痰を排出する



大きく吸い、「ハッ、ハッ」と早く、強く息を吐く。これを5～10回程度行う

手術の後は痰が絡みやすくなりますので、手術を受ける前から痰を出す練習をしてください。

④清潔



- ・手術前には入浴やシャワーなどで身体を清潔に保つことが大切です。
- ・口の中は細菌が増えやすい状態ですので歯磨きをよく行ってください。

⑤保湿について



腕や足など



口唇

- ・肌が乾燥していると、傷がつきやすくなったり、肌荒れを起こしてしまったりします。そのため、手術前は肌の保湿を心掛けてください。

⑥髭剃り、装飾品について



- ・男性の方は可能であれば入院までに髭を剃ってください。
- ・マニキュアやつけまつ毛、ジェルネイルなどの装飾品は入院までに外してください。

⑦食事について

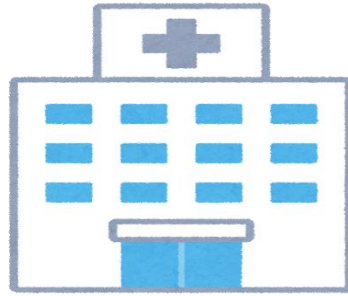


手術の時に栄養状態が悪いと傷の治りが遅くなることがあります。入院までの期間はバランスの取れた食事をお願いします。

※食事内容に関して、医師より指示が出されている方は、医師の指示に従ってください。

4. 入院から手術前日

入院



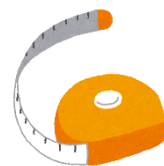
身長や体重を測定します。
病棟看護師から入院生活について
説明いたします。

- 病棟での過ごし方について
- 手術前の飲水と食事について
- 手術前の注意事項など



手術の種類によって行います

- ふくらはぎのサイズ測定
- おへその処置



麻酔科術前診察



麻酔科診察とは

手術前日に麻酔科医師より、患者さんにご家族に麻酔方法と副作用について説明いたします。

その際には、手術室看護師も同席し手術室での流れを説明します。

ご家族にも麻酔の同意書にサインを書いていただきます。

- 14時から16時頃を目安に、手術室面談室で麻酔科医師による問診と麻酔の説明を行います。
- 病棟職員が案内いたしますので、ご家族とご一緒にお越しください。
- 手術の状況によっては、前日に実施できないことがあります。
- その際には、手術当日入室時にご本人とご家族に説明があります。
- ご予定が合わない場合には、病棟看護師へお声かけください。

5. 手術当日の流れ

朝

- ①手術着に着替えていただきます。
- ②医師の指示でお薬を飲んでいただくことがあります。
- ③医師の指示で処置を行うことがあります。
- ④手術室に行く前に体温や血圧を測ります。
- ⑤手術室に行く前にお手洗いを済ませてください。
- ⑥手術後HCUに帰室する場合は荷物を全てまとめ、貴重品は付き添いの方へお預けください。
- ⑦手術室へ行く時間になりましたら、病棟看護師と一緒に手術室へ向かいます。

<取り外していただくもの>

- ・入れ歯や補聴器
- ・指輪や時計などのアクセサリー
- ・マニキュアなどの装飾品
- ・めがね、かつら、ヘアピン、湿布など



- ・手術着の中に、パンツ以外の肌着はつけないでください。
- ・補聴器を外すと全く聞こえない方や、眼鏡がないと歩くことが難しい方は、事前にご相談ください。
- ・髪の毛の長い方は、手術室に入る前に、ヘアゴムなどで横にまとめてください（病棟看護師が説明いたします。）
- ・寒いときには、手術着の上に上着などを羽織って調整してください。

6. 手術室での流れ

手術室に着いたら…

- ①お名前とネームバンド、手術部位を確認します。
- ②取り外せるものがないか確認します。
- ③ぐらぐらしている歯がないか確認します。
- ④当日朝の体調を伺います。
- ⑤点滴をしている場合は、針の入っている部分を確認します。



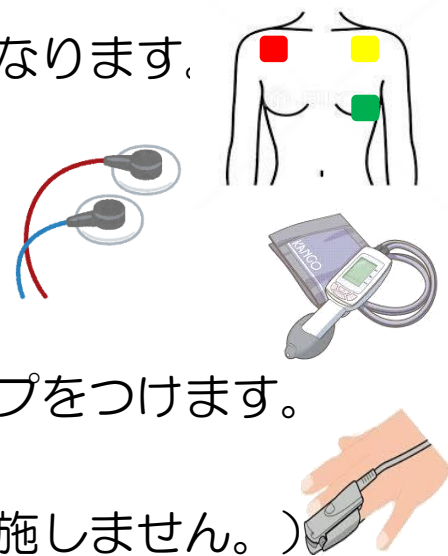
- ⑥看護師間で同意書などの確認を行います。
- ⑦手術用の帽子を被っていただき、お部屋にご案内します。



※手術部位や歩行状態によっては、車椅子やストレッチャー・ベッドで、お部屋に案内いたします。

手術室に入ったら…

- ①手術用のベッドにあおむけで横になります。
- ②手術着を脱ぎます。
(バスタオルをかけます。)
- ③心電図のシールを3枚貼ります。
- ④血圧計を巻きます。
- ⑤指に体内の酸素濃度を測るクリップをつけます。
- ⑥点滴をします。
(手術前から点滴をしている方は実施しません。)



7. 手術中 待機されるご家族へ

手術中

- 手術中はご家族控室でお待ちください。
- PHSをお渡ししますので、
お持ちください。



※手術室入室～退室までの時間：

主治医から説明された「手術時間」の他に「準備」「麻酔」「回復」の時間があります。

時間が長くなる場合がありますが、安全確認や合併症予防のためです。手術が終わり次第、PHSにご連絡します。

8. 手術終了後

手術が終了したらご家族に手術担当医師より説明があります。



医師からの説明が終わりましたら、患者さんは手術室から退室されますので準備してお待ちください。

9. Q&A

Q1. 麻酔はどれくらいで覚めるのですか？

A：手術が終わってから麻酔の薬を使用するのを止めて、15分～20分程度経つと目が覚めてきます。ただし、個人差があります。

Q2. 手術の間、麻酔が切れることはないのですか？

A：手術の間は麻酔の薬を持続して使用します。
麻酔が切れることはありません。

Q3. なぜ、手術の前は食事や水を飲むことを制限されるのですか？

A：全身麻酔中に吐いてしまうと、気管や肺に吐いたものが、入ってしまい肺炎を起こす可能性があるためです。
そのため、胃の中を空っぽにする必要があるので、食事や水分に関する指示は厳守してください。

Q4. なぜ、家族や親戚の手術経験を聞くのですか？

A：遺伝的に麻酔が体質に合わない方がいますので（悪性高熱症）、確認させていただいております。

Q5. なぜ、肌を保湿する必要があるのですか？

A：肌が乾燥していると、手術後に肌が荒れてしまう可能性があります。
その予防のために、保湿をお願いしています。

Q6. なぜ、手術前に口の中を見たりするのですか？

A：口を大きく開けない方やグラグラしている歯がある方は「気管挿管」の処置が難しい傾向にあります。
グラグラする歯がある方は主治医にお伝えください。

メモ

手術や麻酔についてご不明な点や
疑問点などがありましたら
麻酔科問診時に手術室看護師または
病棟看護師へお尋ねください。

